

第69回都民体育大会バスケットボール競技 男子1回戦

5/7(土)駒沢体育館

足立区 対 日野市 戦評

今大会1回戦。旧ユニフォームと同様に胸の「東京足立」が大きく書かれた新ユニフォームで大会に臨んだ。ゾーンディフェンスのチームを相手に、インサイドの攻撃を若干抑えられるも速攻と外からのシュートが決まり、高いディフェンス力で隙を見せず、危なげなく1回戦を突破した。

第1ピリオドは日野市ボールでスタート。足立区はマンツーマンディフェンス。

日野市は序盤から足立区のドライブインとインサイドの攻撃に前半4分30秒の時点でファールが4個。ゾーンディフェンスでインサイドを固めるが、足立区のインターセプトからの速攻で#11のダンクシュートが早々に炸裂した。その後、#14のバスケットカウントでフリースロー、終了間際に#7のスリーポイントも決まり、第1ピリオドはダブルスコアの33-16で終了。

第2ピリオド日野市はゾーンディフェンスのまま。足立区は飛び込みリバウンドで#16がスリーポイントを決めるが、徐々にゾーンディフェンスの利が出る。#11はリバウンドに常に絡んでいたが、執拗なスクリーンアウトにより警戒され、リバウンドファールを取られる。残り1分20秒で足立区のチームファールは4個、日野市は1個に抑えた。足立区はファール数が増えたが、24秒ヴァイオレーションでディフェンス力の高さを誇示した。60-37で前半終了。

第3ピリオド日野市はゾーンディフェンスのままだが、ゴール下は長身の#11同士のマッチアップ。

日野市#11は、インサイドをかなり警戒してディフェンスをするが、足立区#11はインサイドだけでなく、ミドルシュートも得意とし、2本連続で決める。一方、日野市#11は2本連続で外し、#6もミドルシュートを2本連続で外す。このピリオド、日野市#7のミドルシュートが最初の得点。

足立区のディフェンス力は高いままだが、チームファール3個の時点で日野市はまだ0個。

日野市のチームファールは、#5のアンスポで1個目となった。その後、ゾーンディフェンスを変えない日野市に対して、足立区#7がスリーポイントを3連続で決めた後、足立区は全員メンバーを交代した。交代後のメンバーの速攻も決まり、90-52で試合をほぼ決める。

第4ピリオドは足立区ボールからのスタート。シュートファール後のフリースローで得点を重ねる。

日野市は2分以上得点ができず、#17のオフENSEファール後も4分間で2得点と足立区のディフェンスに対する突破口が見えない。

タイムアウト後、日野市は#17のスリーポイント、#5のインサイドの得点で応戦し、交代した#12のレイアップなどで一時流れがあったが、終わってみれば113-66で足立区が1回戦を制した。